会話一片

牧野信一

青空文庫

（Aは友Bは私）

A「潤一郎の卍といふのを読んでゐる?」

B「面白さうだ、が余り短いので読まないよ。彼のものは長いのを一時に読むのが愉快だ。本になつたら読む。」

A「僕は大概始めから続けて読んでゐるが相変らず面白いよ。」

B「さう云へば君、菊池寛の半自叙伝は素的に面白いよ。今月だつてたつた二頁しか出てゐないが、これは僕は、毎月何んなに短くても屹度読んでゐる。第一回からずつと愛読してゐる。いつだつたかの所に、入学試験にパスして国へ帰る途中、さすがに嬉しく、汽車のデツキに出て口笛を吹いた——などゝいふようなところがあつたがそんな風ないろ〳〵一寸した箇所に僕は理屈のない面白味を覚えるよ。」

A「卍にしろ、半自叙伝にしろ、兎も角あんまり短過ぎるね。少くとも里見弴の大地位の分量を望むね。」

B「うむ。」

A「夢魔（岡田禎子作）といふ戯曲は仲々しつかりしたものだよ。理智的で、堅実な筆致で、そしてぎごちなくない、相当落着き払つた清新味もある。屹度この作家は勉強家で、堅実な歩みを続けて、佳き戯曲家になるだらうと思ふよ。」

B「さうか、ぢや読んで見よう。」

A「それから尾崎士郎の（悲劇を探す男）が力作だつた。この作家は味気ないが、厭味のない、勇敢な作家らしいね。変に暗くもないし、無理な明るさもない、そして何となく薄ら寒くさつぱりとしてゐる。関（かま）はず、自由に動いてゐる。」

B「僕もさう思ふ。」

青空文庫情報

底本：「牧野信一全集第三巻」筑摩書房
　　2002（平成14）年5月20日初版第1刷
底本の親本：「時事新報　第一六三六一号」時事新報社
　　1929（昭和4）年1月5日
初出：「時事新報　第一六三六一号」時事新報社
　　1929（昭和4）年1月5日
入力：宮元淳一
校正：門田裕志
2011年7月14日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

会話一片

牧野信一

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/